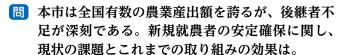


きん いち **金**一 がかり 自由民主党田原市議団

地域計画を今後どう推進するのか

地域での話し合いを継続し、地域の実情を計画に反映していく

田原市の地域計画と農業振興について



- (答) 現状の課題は、労働力不足や所得の不安定さ、多 額の初期投資負担等がある。一方、これまでの取 り組みの効果は、農地等のあっせんや初期投資の 資金に関する補助金の交付、研修先の紹介等を 行った結果、新規就農者は緩やかに増加している ため、一定数の担い手確保につながったと考える。
- 問 遊休農地は拡大傾向にあり、令和6年度には552 ヘクタールにまで増加している。今後、遊休農地 対策はどのように進めていくのか。
- 遊休農地の発生抑制、解消のため、まずは農地所 有者や管理者に除草などの適正管理をお願いして いる。また、貸したい、売りたいという意向のあ る方へは、農地・園芸施設バンクへの登録をお願 いしている。貸借、売買の具体的な契約について は、県農地中間管理事業の申請手続を支援するな ど、今後も農地の流動化に努めていく。

- **問** 台風被害や高温障害など、気候変動に対応した農 業技術をどう推進していくのか。
- (答) これまで台風対策として、国や県の補助メニュー を活用し、ハウスの補強整備を支援するなど、ハ ウスの強靭化に取り組んできた。高温対策として、 軒高ハウスの整備や、循環扇、ヒートポンプの導 入支援等、ハウス内の温度を制御する設備の導入 を推進してきた。さらに、田原市農業改良推進協 議会では、遮熱資材の使用や耐暑性品種の試験栽 培も進めている。今後も国や県、大学等と連携し、 地球温暖化に対応した農業技術の導入を推進して いくく

地域計画を今後どのように推進するのか。

地域計画は一度策定して終わりではなく、将来の 地域の農業・農地を守る、いわばスタート地点と なるものである。今後も地域での話し合いを継続 し、地域の実情に即した計画となるようにしてい く。

た仕組みづくりにつ

ても

きた



のもとで環境美化を進めていく制で民と市がお互いの役割分担を決っダプトプログラム 両者のパートナーシップ

多くの もらうことができるよう、 境 割を認識し、 市 め、いろいる鬼を整えてい :業の効率化 る 民 協働 べき 市民に公園の維持管理に参加してもらえるよう、 持続可能な公園管理を進 の基本理念に基づき、 くろな団: いきたいと考える。 担って 本市の基本的な考え方は や機械化を進め 体に いくことが重要である。 こも積極: ア 的 な ダプトプログラム また地で みんながそ がら、 めていくためにはどう 維 検討をしてい 持管理に 活動、 元自治会をはじ

し

やす

が環

加 <u>*</u>

して

しれぞれ

0

そのため、

問